

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/12/13

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.56	-0.04
JPY/THB	0.2963	0.0001
USD/JPY	113.44	-0.05
EUR/THB	37.97	0.04
EUR/USD	1.1313	0.0020
USD/CNH	6.376	-0.004
SGD/THB	24.59	-0.02
AUD/THB	24.08	0.07
USD/INR	75.79	0.27
USD Index	96.10	-0.17

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.245	0.000
10Y (THB)	1.963	0.000
5Y (USD)	1.250	-0.018
10Y (USD)	1.484	-0.015

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,782.9	8.3
WTI (Oil)	71.67	0.73
Copper	9,506.5	-28.0

Stock

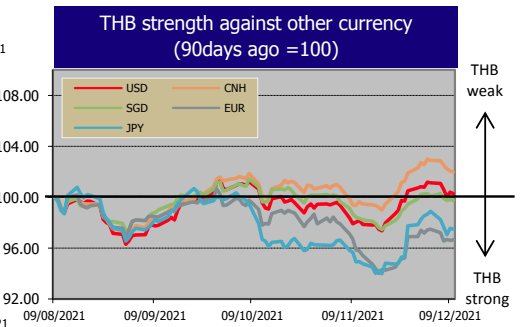
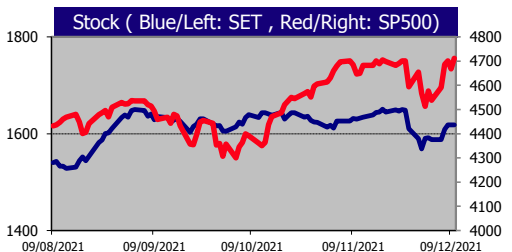
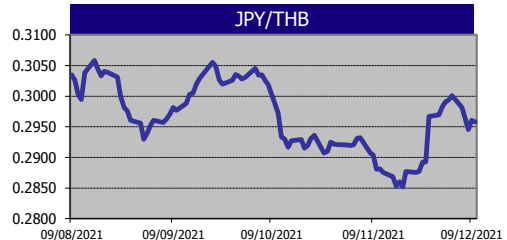
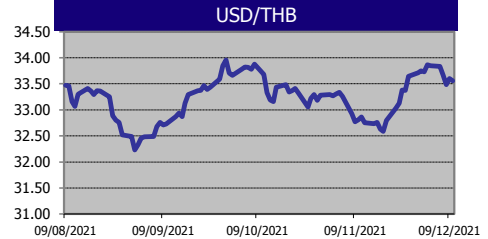
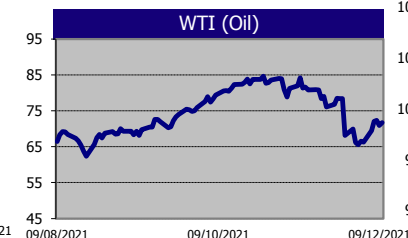
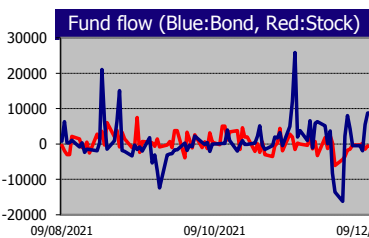
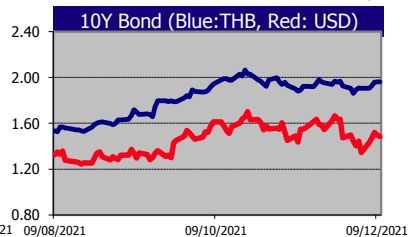
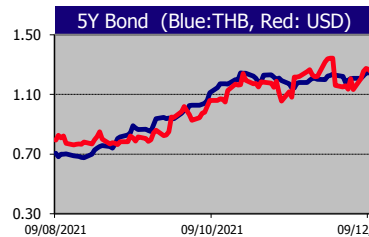
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,618.23	0.00
NIKKEI (JP)	28,437.77	-287.70
DOW (US)	35,970.99	216.30
S&P500 (US)	4,712.02	44.57
SHCOMP (CN)	3,666.35	-6.69
DAX(GER)	15,623.31	-15.95

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(603)	0.0
Bond net flow	8,736	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドル相場

9日のドル相場は33.56で取引開始。リスク選好地合いが継続してドル相場は朝方に同日安値をつけたが、その後は連休を前にポジション調整メインとなってじりじり上昇。海外時間でもドル買い優勢。10日、タイ祝日で参加者が限られる中、ドル相場は前日終値近辺での動きが続く。その後は米CPIへの警戒感からドル買いが強まり海外時間入り後33.56で取引終了。米CPIが予想通りの水準という結果に安心感から33.56に安値を戻して終了。

●ドル円その他

9日のドル円は113.44で取引開始。上昇していた米長期金利が下落に転じると、ドル円もつられて下落したが、米CPI発表を前に113.44で底堅い動き。海外時間、米新規失業保険申請件数が予想比減少すると113.44前半から反発、113.44半ばまで戻した。10日、113.44半ばでオープンしたドル円は、米CPIの上昇を警戒して上昇し、指標発表前には113.44後半へ。しかし、同CPIが予想通りの水準に着地し、警戒されていただけに発表後は安堵されてドル売りが強まると113.44半ばまで戻して越え。

Bangkok Dealer's Eye

日本のように外国人の新規入国停止を直ぐに発表する国もありましたが、オミクロン株流行による世界経済の回復遅延懸念は和らぎ、タイの観光立国に向けた見直し改善と共にドル相場は先週大きく下落しました。週初と週末を祝日に挟まれ3営業日しかなかったものの、オンショアの週間終値を基準とすると、パーツの週間対ドル上昇率はアジア通貨の中で最強でした。ただ、相場の注目は再び米国の金融政策となり、33.56前半に入ってくるかというところでは底堅い推移を見せています。これはパウエル議長が再任決定後にタカ派スタンスを強め、利上げ前倒し観測が高まっているためと考えています。パウエル議長は、バイデン大統領が懸念するインフレ高進に同調するかのようにテーバリング前倒しの意向を示し、FRBが参考とする最新の米11月雇用統計では労働参加率の上昇、失業率の低下、賃金や労働時間の伸びが確認されました。先週末の米11月CPIは予想通りの着地でしたが、高水準であることに変わりなく、FOMCでテーバリングの加速を決定するには十分だと思われ、これまでの1.5倍程度までペースを加速させるのではと予想されています。ただ、慎重な姿勢が見られるようであれば、ドル売りが入りやすく短期的にドル買い好機となりそうです。(鈴木)